

あとがき

「汝の隣人を愛せ」

本特集号はアディクション (addiction) を取り扱っている。アディクションというと麻薬、芸能人、野球選手やらアルコール依存症と連想することが多いが、本特集で取り上げたのは、むしろもっと身近な危険ドラッグ、インターネット、ゲーム、ギャンブル、窃盗、性依存である。普段、メールや LINE などの SNS を利用する御仁にとって、これらがアディクションといわれると、筆者も含めて自身が病人かと不安になってくるのではないか。麻薬のように、家族、身代、名誉まで捨てるようなアディクションと、それ以外のアディクションでは何が違うのか。本特集を読まれた方は、とりわけ松本論文「アディクションの神経基盤」を読まれると、そこに明確な区別のないことがわかるであろうし、逆に、嗜癖そのもの、あるいは類した行動をとる脳活動そのものがアディクションだと正しく理解できるはずである。Addiction の邦訳は、嗜癖であり依存症である。依存症という「症」の文字から病的とわかるが、嗜癖となるとボーダーの認識が生まれ得る。しかしながら、本特集では、これらが正常と一線で区別することのできない連続したバランスを欠く脳活動スペクトルであることがわかる。よく、窃盗癖逮捕者に「病気のせいにするな」とは警察や近親者の説得であるというが、医療者はこれを病気と捉え、治療対象として考えるのである。極論すれば、過度にこだわる癖は、病気であり治療対象に入るというスタンスが存在するのである。このスタンスは、アディクション当事者への福音ともなるが、回復への妨げとなることもあり得るであろう。本特集では、アディクション治療として、同病者との交流プログラムや、薬物治療、あ

るいは隔離治療などが紹介されている。基本的には、アディクションに活動する神経回路以外の別回路の補強、フィードバック賦活化であるとも俯瞰できそうである。

このアディクションには、ドパミン神経伝達物質が深く関与していることは神経薬理学的、電気生理学的に証明されてきているが、ドパミンの神経基盤を議論した松本論文によると、報酬予測誤差信号という強化型と salience 信号という強化・抑制増幅型の作用があるという。抑制だけのドパミン作用がないために、GABA をはじめとした別回路でのバランスによってトータルなアディクション回路が形成されると理解した。経口剤または注射剤としての薬剤は、これらの脳内神経回路を峻別することは容易ではないので、治療としては、おおよっぱな対症療法となったり、副作用をも惹起したりすることを、常に念頭に置かなければならない。これを踏まえ、客観的に非医療側からの視点に立ち、もう 1 度警察や近親者の言い分を紐解くと、自身で別回路の活性化またはアディクションの客観視を求めるという意味で、アディクション回路の特異的矯正という自己治療を促す発言と理解できるのではないかな。つまり、警察や医療者両者には応分の言い分があるように思われてならない。

本特集を読み、アディクション患者への理解が深まり、バランスがあると考えられているわれわれ正常者世界の彼岸に、われわれの仲間としてのアディクション患者が連続して存在することを知った。「汝の隣人を愛せ」とはマタイ伝にあるキリストの教えと思っていたが、医療者のテーマでもあったのかもしれない。

(森 啓)

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
高坂 新一	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満 (編集主幹)	
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰 (五十音順)

オンライン投稿

ID : brain PW : nerve

本誌は MEDLINE に
収載されており、掲載論文は
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第 68 巻第 10 号

2016 年 10 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 : 本体 2,700 円 + 税 (送料実費)

2016 年年間購読料 (送料弊社負担・本体価格)

冊子版 34,080 円

電子版/個人 34,080 円

冊子 + 電子版/個人 39,080 円

ご購入に関するお問い合わせ先 (販売部直通)

TEL 03-3817-5659 FAX 03-3815-7804

印刷所

(株) アイワード TEL 011-241-9341

広告申込

(株) ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】 (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構 (TEL 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

編集室直通

TEL 03-3817-5701

FAX 03-3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn

担当 : 小藤・小路・前野

Published by IGAKU-SHOIN

Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,

Tokyo ©2016, Printed in Japan

『BRAIN and NERVE』誌 読者アンケート用紙

日ごろよりご愛読いただきありがとうございます。今後の誌面充実のためご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で図書カードを進呈いたします。

FAX：03-3815-7802 医学書院「BRAIN and NERVE」編集室宛

計1枚

1. 当てはまるものに○をつけてください（年齢、ご所属、ご専門）

■ご自身について

- 1) 年 齢 a. 20代 b. 30代 c. 40代 d. 50代 e. 60代
2) ご 所 属 a. 大学 b. 勤務医 c. 開業医 d. 研究機関 e. その他（ ）
3) 専門領域 a. 神経内科 b. 脳神経外科 c. リハビリテーション科 d. 基礎領域
 e. その他（ ）

■雑誌について

4) 読みやすさ（全体の印象）

非常によい 普通 非常に悪い
5 4 3 2 1

5) 価格

高すぎる 内容相応 安い
5 4 3 2 1

2. 現在購読されている雑誌名をご記入ください。

3. これまでに弊誌で掲載した特集，論文・連載などのなかで，印象に残るものがございましたらご記入ください。

4. 弊誌に対するご意見，ご要望（取り上げてほしいテーマなど），現在ご興味のあるトピックスなどございましたらご記入ください。

ご 芳 名：

ご 連 絡 先：

*ご記入いただいた個人情報は、アンケート記念品の発送および新刊案内の送付等に使用させていただきます。なお詳しくは弊社ホームページ（<http://www.igaku-shoin.co.jp>）収載の個人情報保護方針をご参照ください。